



(防湿型・防雨型)

非常用照明器具・階段通路誘導灯兼用型

壁付型

品番

一般型(30分間)	長時間定格型(60分間)
NWFF21639 LE9 (20形)	NWFF21669 LE9 (20形)
NWFF41639J LE9 (40形)	NWFF41669J LE9 (40形)
NWFF41739J LE9 (40形)	

(電池内蔵型)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

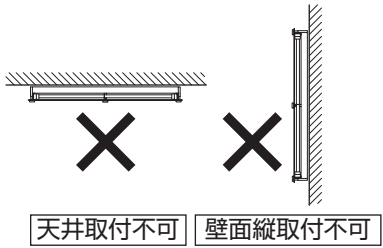
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意



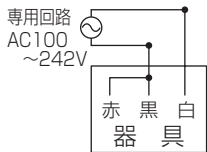
- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると非常点灯せず正しい避難誘導ができないほか、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 必ずパナソニック製ランプを使用する。管径・口金が異なると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。
万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を短絡、分解等しない。破裂・やけど・感電・火災の原因となります。
- 壁面横取付専用器具です。壁面縦取付や天井取付はしない。
火災・パネル落下の原因となります。点検スイッチが下になる方向にお取付ください。
- 電気設備技術基準にしたがい、D種(第3種)接地工事をする。
接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は確実にを行う。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続等）はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。



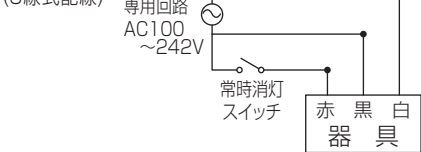
- 軒下など雨線内で使用できます。ただし、風の強い場所、常時高温・高湿度になる場所、腐食性ガスが発生する場所、塩害を受ける場所、屋内プールなどの塩素雰囲気さにさらされる場所、振動の強い場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 直射日光の当たる場所には設置しないでください。過熱による故障・短寿命の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつきや短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- この器具の電源は専用回路にしてください。
- 階段通路誘導灯として使用される場合、常時、連続点灯してください。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
消灯される場合は、自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- 48時間充電後→非常点灯の確認をしてください。充電しないと非常点灯しません。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

配線種類

常時消灯しない場合
(2線式配線)



常時消灯する場合
(非常用照明器具としてのみ使用)
(3線式配線)

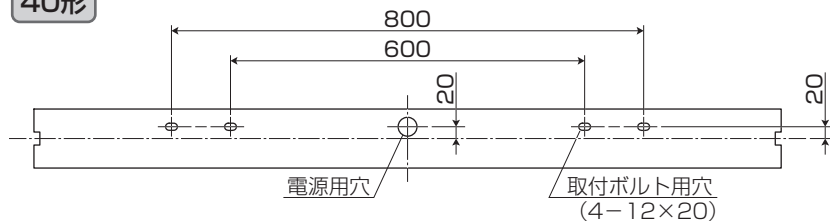


常時消灯する場合
(階段通路誘導灯として使用)
(3線式配線)

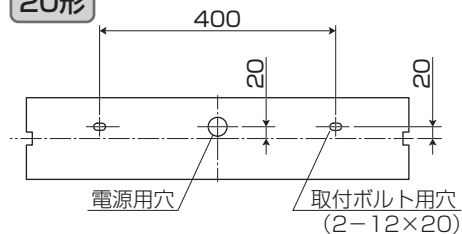


器具背面図

40形



20形



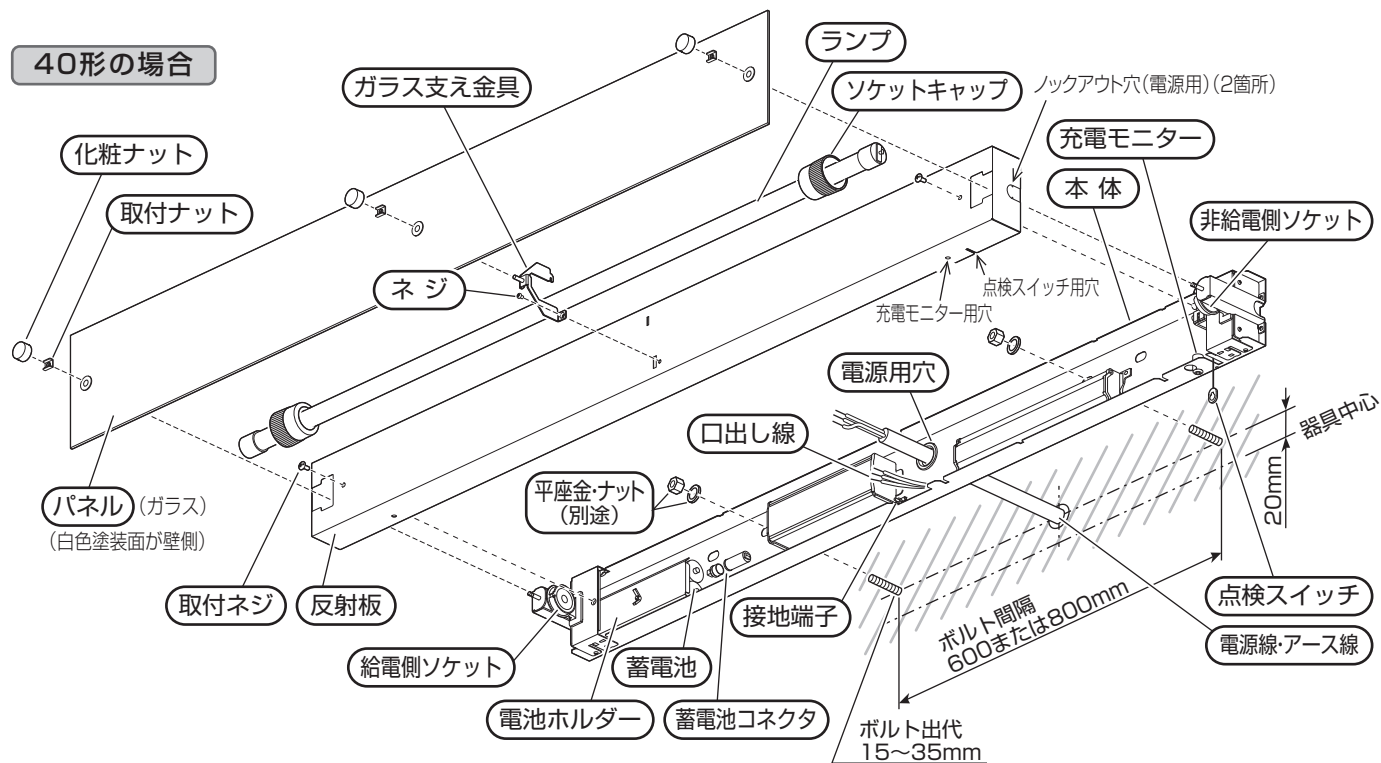
各部のなまえと取付方法



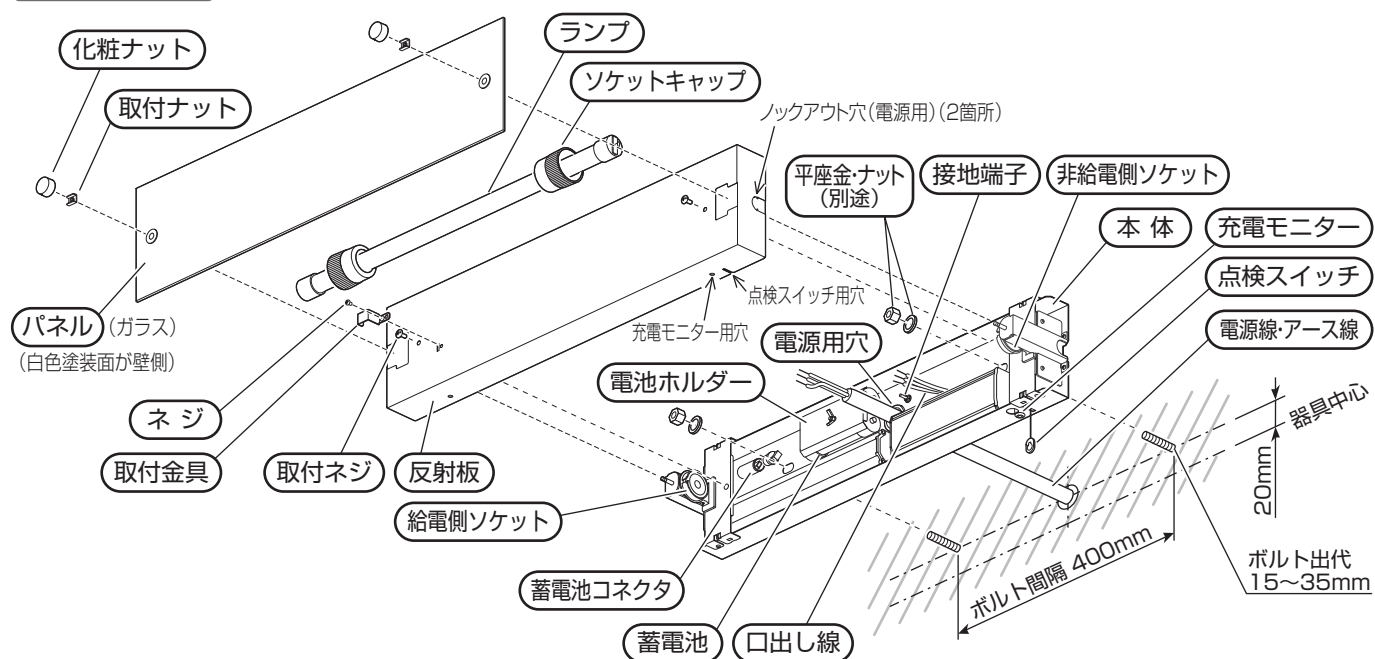
警告

施工は、施工説明にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

40形の場合



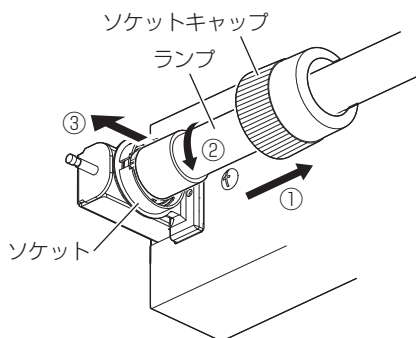
20形の場合



お手入れ・部品交換 (続き)

3 ランプを外す

- ①ソケットキャップを回してソケットから取外す。
- ②ランプを90°回転させる。
- ③ランプをソケットから引き抜く。



●手順**3**まで行ったあと、新しいランプ・ガラス支え金具(40形の場合)・取付金具(20形の場合)・パネルの取付は4～5ページ「各部のなまえと取付方法」手順**8～10**を参照して行ってください。

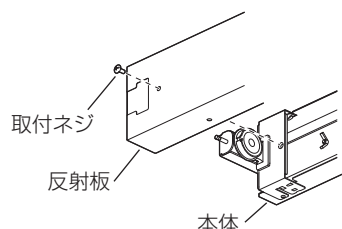
●蓄電池交換のしかた

1 パネル・ガラス支え金具(40形の場合)・取付金具(20形の場合)・ランプを外す

・6～7ページ「●ランプ交換のしかた」
手順**1～3**参照。

2 反射板を外す

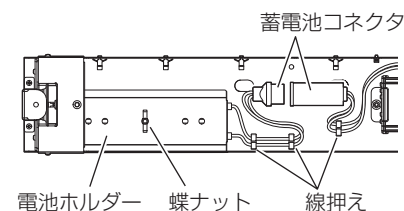
・取付ネジ(2個)を外し
反射板を外す。



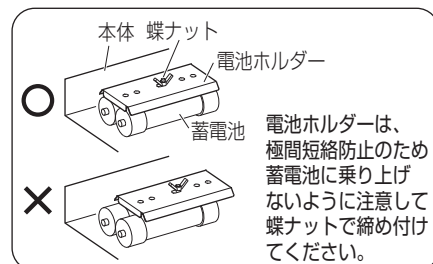
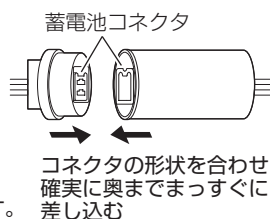
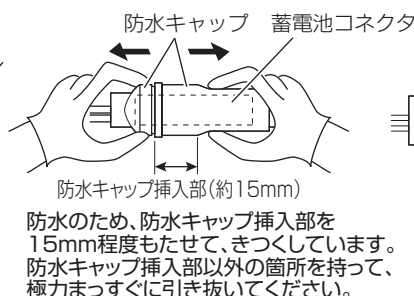
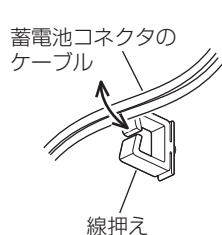
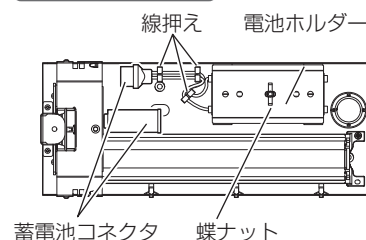
3 蓄電池を交換する

- ①蓄電池コネクタのケーブルを線押さえから外す。
- ②蓄電池コネクタの接続を解除する。
- ③蝶ナットを外し蓄電池を交換する。
- ④①～③の逆の手順を行う。

40形の場合



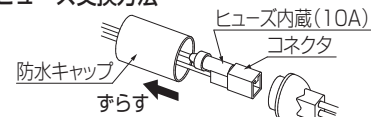
20形の場合



4 電池交換年マークの貼付け

・新しい蓄電池に同梱されている電池交換年マークの該当する年度を、設置年マークの近傍に貼り付ける。

ヒューズ交換方法



防水キャップをずらし内蔵のヒューズを交換してください。
ヒューズ交換後は防水キャップを確実に引きもどしてください。



警告

●感電のおそれあり
ヒューズ交換時は必ず電源を切ってください。

●手順**4**まで行ったあと、

反射板・ランプ・ガラス支え金具(40形の場合)・取付金具(20形の場合)・パネルの取付、及び点灯確認は、4～5ページ「各部のなまえと取付方法」手順**7～11**を参照して行ってください。

使用上のご注意

- ・調光機器などとの組合せはできません。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のランプでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・接地極のない電源に接続する場合は、消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。予めご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり、暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。

保証について

- ・保証について…… この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
ランプ・電池などの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について…… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品…… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

- ・器具の清掃に…… 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
ついて シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換に…… 本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
ついて 必ずパナソニック製ランプを使用してください。
管径・口金が異なると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。

【交換部品】

品番	直管LEDランプ	蓄電池
NWFF41639JLE9 NWFF41669JLE9	LDL40S・N/29/38-K	FK716 (7.2V、3000mAh)
NWFF41739JLE9	LDL40S・N/19/25-K	
NWFF21639LE9 NWFF21669LE9	LDL20S・N/11/12-K	FK843 (4.8V、3000mAh)

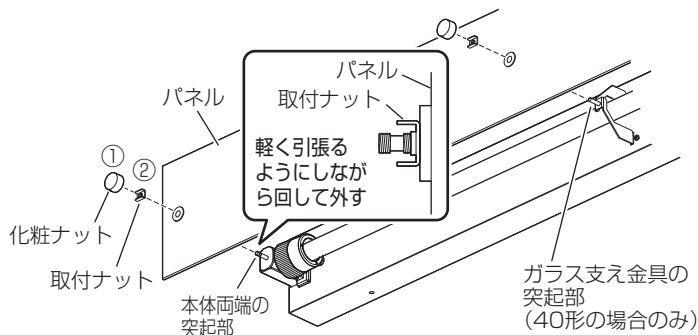
警告

- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- ランプ破損のおそれあり
ランプはガラス製です。
取扱に注意してください。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプや
その周辺をさわらないこと。
- 非常時に正常点灯せず
必ず指定の適合ランプを
使用すること。
- パネル破損のおそれあり
パネルはガラス製です。
取扱に注意してください。

●ランプ交換のしかた

① パネルを外す

- ①化粧ナット（40形：3個、20形：2個）を回して外す。
- ②パネルを手で支えながら、
取付ナット（40形：3個、20形：2個）を回して外す。
本体両端の突起部（2箇所）はネジ部が2段になっています。
取付ナットを軽く引張るようにしながら回してください。

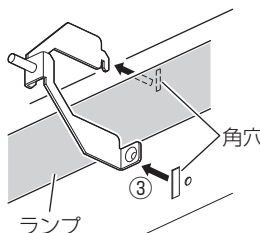
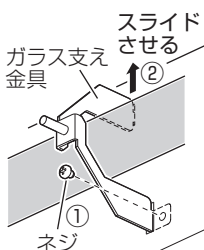


② ガラス支え金具（40形の場合）、または取付金具（20形の場合）を外す

40形の場合

<ガラス支え金具を外す>

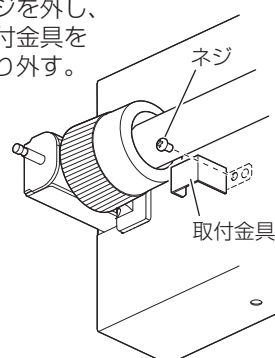
- ①ネジを外し、
ガラス支え金具を
上方向に
スライドさせる。
ガラス支え金具
- ②角穴からガラス支え金具を取り外す。
ガラス支え金具がランプに当たらない
よう注意して取り外してください。



20形の場合

<取付金具を外す>

- ・ネジを外し、
取付金具を
取り外す。



各部のなまえと取付方法 (続き)

1 取付前の確認

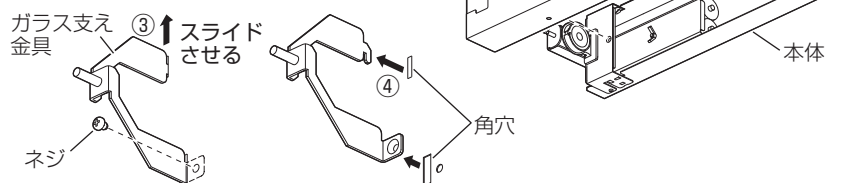
- 器具質量 (7.5kg : 40形の場合、5.2kg : 20形の場合) に十分耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

2 反射板を取り外す

- ①青テープで反射板に固定されている点検スイッチを取り外す。

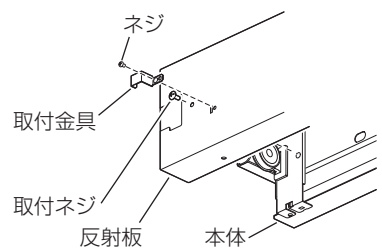
40形の場合

- ②取付ネジ (2個) を外し、本体から反射板を取り外す。
- ③ネジを外し、ガラス支え金具を下記の矢印方向にスライドさせる。
- ④角穴からガラス支え金具を取り外す。



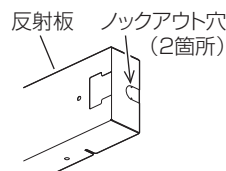
20形の場合

- ②取付ネジ (2個) を外し、本体から反射板を取り外す。
- ③ネジを外し、反射板から取付金具を取り外す。



3 本体の取付

- 電源線・アース線を本体の電源用穴 (プッシング付) から引き込んでおく。器具の端部から電源線・アース線を引き込むこともできます。その場合は引き込む側の反射板のノックアウト穴を打ち抜き、電線管等で電源線を保護してください。
- 点検スイッチを下側にし、平座金・ナットで本体を取付ボルトに確実に取付ける。(推奨トルク値: 1.5N・m)
不備があると器具落下の原因となります。



4 電源線・アース線の接続

【電源線の接続】

- 電源線を器具口出し線に接続する。
- 接続部の絶縁、防水処理 (融着テーピング等) を確実に行う。
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- 口出し線の線種: ポリエチレン絶縁電線
- 口出し線の線径: 0.75mm²

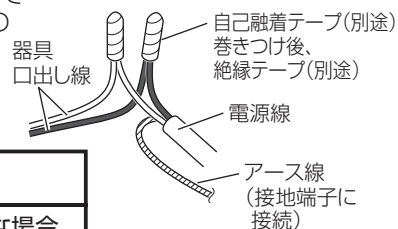
【アース線の接続】

- アース線を接地端子に確実に接続する。
- D種 (第3種) 接地工事が必要。
- 適正な圧着工具を用い、確実に接続する。
- 付属圧着端子: 富士端子製 R型 呼び2-4
- 適合アース線径: 1.25mm²

電源線と器具口出し線を確実に接続し、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理を施す。

*防湿・防雨型ですので

接続部は外部からの完全な絶縁・防水処理が必要です。

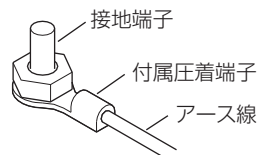


警告

接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

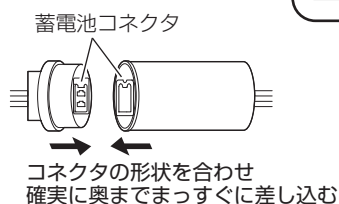
警告

接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。



5 蓄電池コネクタの接続

- 蓄電池コネクタを接続する。
接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。



6 設置年マークの貼付け

- 器具内に貼付けられている設置年マークの該当する年度を、器具の外郭に貼り付ける。

各部のなまえと取付方法（続き）

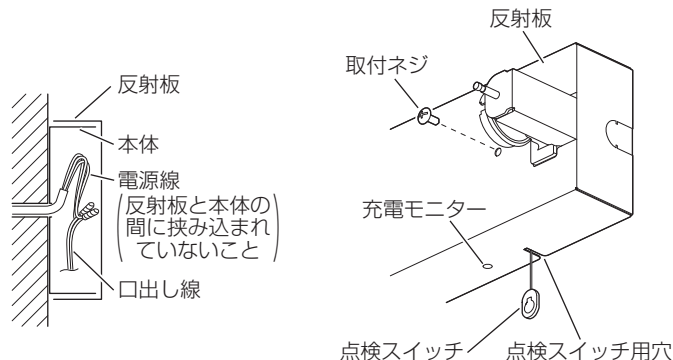
7 反射板の取付

- ・口出し線は本体内側に納めておく。
 - ・点検スイッチを、反射板の点検スイッチ用穴に通す。
 - ・取付ネジ(2個)で反射板を本体に確実に取付ける。
(推奨トルク値: 0.8N・m)
- 取付はドライバー等を使用し確実に取付けてください。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。



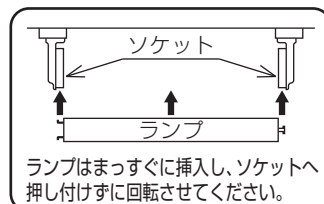
警告

口出し線が本体からはみ出した場合、線を傷つけてしまい、感電の原因となります。



8 ランプを確実に取付ける

- ・ランプにソケットキャップ(2個)をはめこむ。
 - ・ママーク付ソケットにランプピン1本ピン側を取付ける。
(ランプに方向性があります。向きを確認して取付けてください。)
 - ・ランプをソケットの奥まで挿入して、確実に取付ける。
 - ・発光部が照射方向となるように90°回転させて取付ける。
- 取付が不完全な場合、ランプ落下、照度低下の原因となります。
- ・ソケットキャップをソケットにしっかりと締め付ける。
- 取付が不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。



絶縁不良、感電のおそれあり。下記注意点にしがたい、確実に取付けてください。

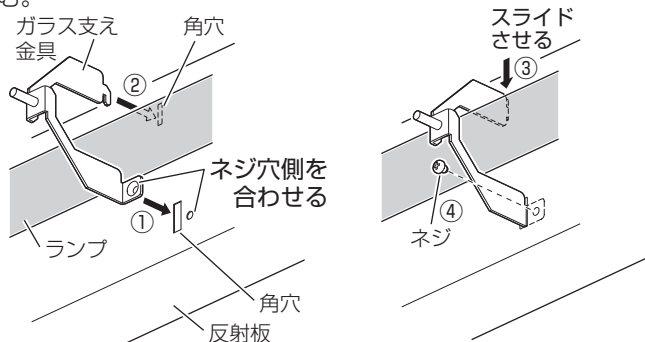
給電側 (2本ピン)	非給電側 (1本ピン)	ソケットキャップ取付時の 注意点:
		ランプをまっすぐに挿入する
①の注意点: 給電側ソケットの回転部分が 下図の位置にあることを確認する。 スれている場合は左図の状態になるまで回転させる	②の注意点: ランプ長手方向に 30N以上の力を加えない。	③の注意点: ソケットキャップとソケットにスキマが出ないように 締め付ける。(中途半端締付、斜め締付をしない。)

9 ガラス支え金具(40形の場合)、 または取付金具(20形の場合)の取付

40形の場合

<ガラス支え金具の取付>

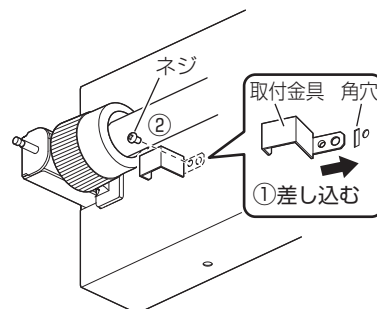
- ①ガラス支え金具のネジ穴側を、反射板の角穴(ネジ穴側)に差し込み引掛ける。
- ②反対側を反射板の角穴に差し込む。
- ③ガラス支え金具を下方方向にスライドさせる。
- ④ドライバー等でネジを締め付け固定する。
ネジ山が破損する恐れがあるため
電動ドライバーは使用しないでください。



20形の場合

<取付金具の取付>

- ①反射板の角穴に、取付金具のネジ穴側を差し込み引掛ける。
- ②ドライバー等でネジを締め付け固定する。
ネジ山が破損する恐れがあるため
電動ドライバーは使用しないでください。

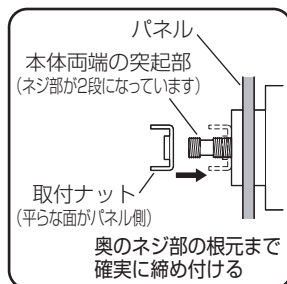
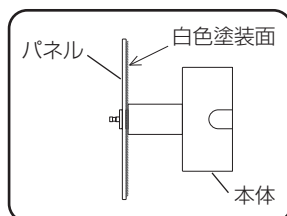


- ・ガラス支え金具または取付金具は、指定以外のランプ使用を防止するため、必ず取付けてください。
- ・取付の際は、ランプに当たらないよう注意して作業してください。

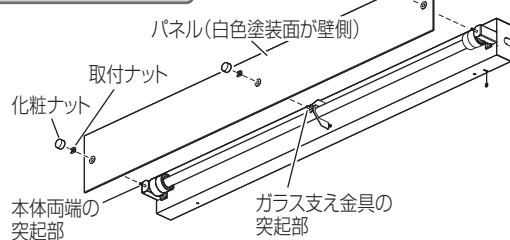
各部のなまえと取付方法（続き）

10 パネルの取付

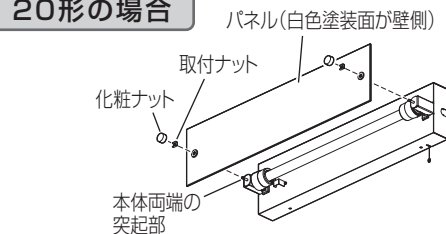
- ①白色塗装面が壁側になるようにして、パネルを本体両端の突起部（2箇所）に差し込む。（右図参照）
40形の場合、ガラス支え金具の突起部にも差し込む。
 - ②パネルを手で支えながら、取付ナットを確実に取付ける。（40形：3個、20形：2個）
・取付ナットは平らな面をパネル側に向けて、突起部に締め付けてください。
・本体両端の突起部（2箇所）は、ネジ部が2段になっています。
奥のネジ部の根元まで、取付ナットを確実に締め付けてください。（右図参照）
- 取付が不完全な場合、
パネル落下の原因となります。
- ③化粧ナット（40形：3個、20形：2個）を突起部に確実に取付ける。



40形の場合

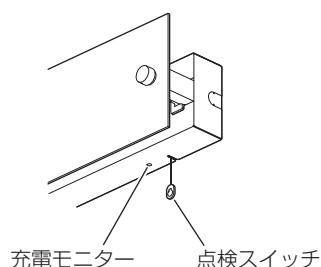


20形の場合



11 点灯確認

- ・電源通電状態でランプおよび充電モニター（緑）が点灯しているか確認する。
 - ・点検スイッチを引き非常点灯を確認する。（充電モニターは消灯します。）
蓄電池は設置後通電し充電しないと非常点灯しません。
- 正常に動作しない場合は
（故障かな？と思ったときは）（裏表紙）の項をご確認してください。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取扱に注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損（ひび・割れ等）した状態で使用しない。
破損した状態でも点灯しますが、使用し続けると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしない。破裂する危険があります。
- 蓄電池は分解しない。やけど・感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池をショートさせない。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 照明器具には、寿命があります（※1） 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。（チェックシート番号：CLX2021JA）
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。使用条件は周囲温度30℃です。

- ランプの光源寿命は40000時間です。
- ランプは寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

